

どんぐり村の こみ・すく通信

令和 5年 11月 10日発行 令和5年度 第15号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

子どもたちへの応援メッセージ

今回、家庭科の授業支援をしてくださった地域の皆さんからのメッセージを紹介させていただきます。



みんなの学校応援団の活動を紹介<その10> 地域の方々が家庭科の授業支援 集中してエフロンづくり

10月19日と23日の2日間、更別小学校5年生の家庭科の時間に、地域の学校応援団の方々が授業支援に入ってくださいました。家庭科の地域の方による支援は、4年目の取組です。

支援してくださる地域の方がすぐ近くに来てくださるお陰で、子どもたちは安心して作業に取り組むことができていたようです。また「天才だね。」「上手だね」「よくがんばったね。」など褒めてもらったり前向きな声掛けをしてもらいながら、やる気を前面に出して集中して作業に取り組んでいました。

延べ11人の地域の方が授業を支援



いいよ。その調子



まっすぐに縫えているね



縫い目を一緒に確認



笑顔でミシンがけ



そうです。返し縫いが大事



真剣な表情。集中！

更別小学校5年生の皆さんへ

皆さんと一緒にミシンやアイロンを使った勉強をすることができ、大変楽しかったです。

- 作業では、とても集中して意欲的に取り組んでいました。また、先生のお話をしっかりと聞いて理解したうえで作業を進め、更に上手になっていきました。ミシンがけの縫い目がとても上手な人が多いました。
- 積極的に作業を前に進める人、反対に、慎重に丁寧に作業を進める人もいて、それぞれ個性が光っていて良かったです。
- 早く作業が終わった人が空いているミシンやアイロンを教えてあげたり、友だちが作業道具がない時には気づいて貸してあげたりする姿を見かけました。皆さんの優しさを感じました。
- ミシンの調子が悪く、縫い目が良くない部分を始めからほどこき直してやり直している人もいました。きれいに仕上げようとする意欲や根性は素晴らしいと思いました。
- アイロンのかけ方を教えてあげると、素直に作業をし、慣れるととても上手になっていきました。「ありがとうございました」と言ってくれ、こちらもうれしかったです。
- 分からないときには「〇〇さーん」と声をかけてくれました。頼りにしてもらえるのはうれしかったですし、何でも一生懸命やろうとする気持ちがすばらしかったです。これからも自分に自信をもって頑張っていってほしいです。応援しています。

地域の住民(授業に入っていた皆様)

梶浦、神成、茂松、石井、酒井(裕)、高橋、酒井(民)より